

新しい和鋼博物館の 展示構成と主な改修内容

和鋼博物館 展示改修基本設計 【概要版】

令和7年3月 安来市教育委員会



和鋼博物館では、館を取り巻く環境の変化に対応し、諸課題を解決するため、令和5年度に「和鋼博物館展示改修基本構想・基本計画」を策定しました。続いて、令和6年度に「基本構想・基本計画」に基づいて「和鋼博物館展示改修基本設計」を行い、展示構成、レイアウト、設備、内装、展示手法などを検討し、基本設計図書を作成しました。

新たな構想のもと、親しみやすい、魅力的な博物館を整備していきます。

展示改修の基本的な考え

(基本構想より引用)

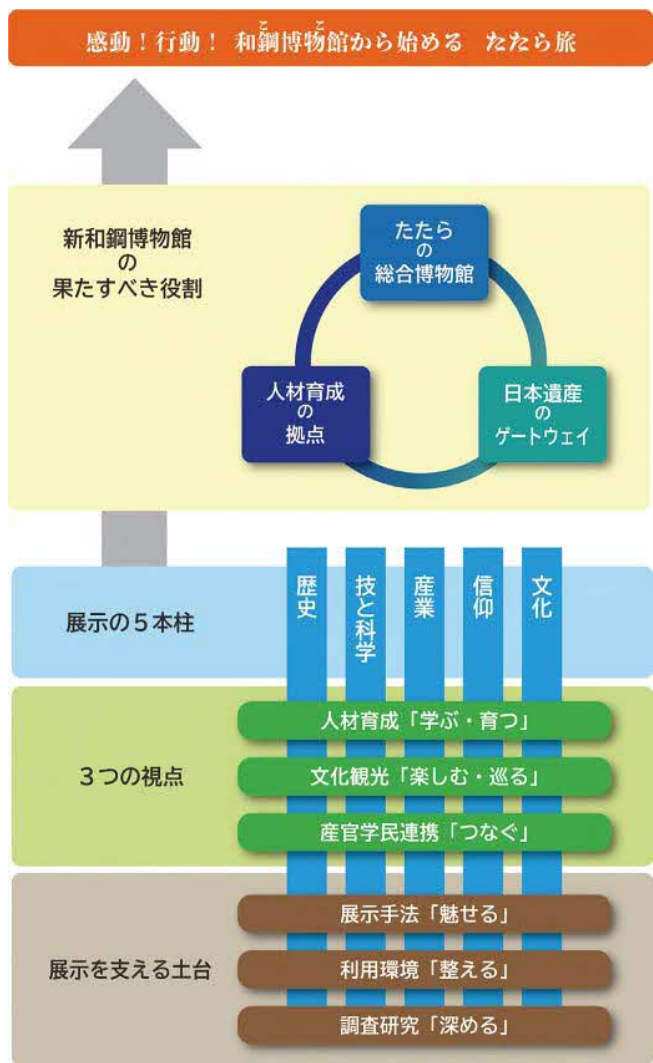
新和鋼博物館は、かけがえのない地域の財産である「たたら製鉄」をテーマとし、たたら製鉄とたたら製鉄を由来とする文化遺産を活動の対象とし、その魅力を国内外に情報発信する施設です。

一方では、「歴史・技と科学・産業・信仰・文化」という幅広い視点から、市民や来館者に魅力を伝え、将来の鉄鋼関係の職業の担い手を育成していくことが必要です。展示構成は、初心者から研究者まで誰もが親しみやすいようテーマごとの展示（テーマ展示）とし、大人から子供までが楽しく学ぶことができる施設を目指します。

展示解説の考え

(基本計画より引用)

- ・大人から子供まで分かりやすい展示を目指す
- ・解説キャプションは中学生が理解できることを指標とする
- ・解説(パネル、グラフィック)では、分かりやすい文言やフォント、大きさ、文字数、総ルビの記載を心がける
- ・訪日外国人や在住外国人向けに解説を多言語化し、世界に開かれた博物館を目指す
- ・図表や模式図・イラストを用いて来館者の理解を促進する
- ・小学生や初めてたたら製鉄に触れる人、もっと詳しく知りたい人など、対象者に応じた展示解説や学習材(ワークシートなど)を作成する



展示改修の基本理念概念図

展示構成

エントランス

-テーマ-
**こども向け
スペース**
-大項目-
こども向け展示

小さな子供たちも鉄を身近に体感することのできる展示空間。鉄の特徴、暮らしの中の鉄について、のぞく、持つ、音を聞くなど、頭も体も使って、鉄の不思議を体感できる展示とする。

前室

-テーマ-
たたらとの出会い
-大項目-
たたら情景
たたら従事者の祈り

始めに、たたら製鉄の象徴的な資料と、祈りや習俗を通して、館のテーマである「たたら製鉄」と「和鋼」の情景（イメージ）を伝える。

第1展示室

-テーマ-
たたらを知る
-大項目-
たたらの歴史
たたらを支える資源、設備、道具
たたら操業
大鍛冶

日本と世界の製鉄の歴史、たたら製鉄を構成する、原材料、設備、道具、そして作業とその製品を通して、たたら製鉄の概要を紹介する。貴重な「たたら製鉄用具」を通して鉄づくりの実像を伝える、和鋼博物館の展示の中核。

第2展示室

-テーマ-
技と科学
-大項目-
鉄との出会い
鉄の原材料
鉄をつくる
鋼をつくる
製品をつくる
鉄の未来
体験スペース

たたら製鉄と現代の鉄鋼について、その材料や鉄生産、製品などの要素を通して、技と科学の視点から紹介する。俄国一博士資料やヤスキハガネ製品を活用して展示を構成する。体験展示などを通して、鉄を身近に感じ、探究心を高める展示内容とする。
また、大規模な企画展の会場とする。

第3展示室

-テーマ-
**たたらと
安来の関わり**
-大項目-
鉄の積出港安来
ハガネづくりの町安来
たたらを未来につないだ人々

安来におけるたたら製鉄とその流通、そして近現代の特殊鋼生産への進展を通して、たたら製鉄と地域との深い関わりを紹介する。「ハガネの町」安来の成り立ち、特色を伝え、郷土への愛着や関心を育む助けにする。

現儀記念室

-テーマ-
**たたらが
もたらした文化**
-大項目-
たたらがもたらした文化
安来のダンサンが守り育てた文化

たたら製鉄に由来する文化や芸術を伝え、経済的な繁栄が、豊かな文化をももたらしたことを紹介する。たたら経営者ゆかりの建築物、調度品、祭礼、安来の実業家（ダンサン）ゆかりの美術工芸品を展示する。
また、小規模な企画展の会場として使用する。

2階ロビー

-テーマ-
たたら国出雲
-大項目-
日本遺産「出雲国たたら風土記」

日本遺産「出雲国たたら風土記」のストーリーと構成文化財を紹介する。また、構成文化財を訪ね、触れ、味わうことのできる場所、その体験、イベント情報などを伝える。そして、島根・鳥取のたたら製鉄の文化遺産への周遊を促す。

展望ラウンジ

-テーマ-
たたら港町
-大項目-
船が行き交う中海

中海に隣接し、十神山と安来港を一望する立地を活かし、かつて鉄を運ぶ船が盛んに行き交った中海の情景を味わえる展示とする。

エントランス

-テーマ-
**和鋼博物館の
建築と意匠**
-大項目-
和鋼博物館の建築と意匠

和鋼博物館の設計者宮脇樫の建築とデザインを紹介する。灯台や山、八重垣などをモチーフに「八雲立つ出雲の山々」をテーマにした建築の特徴と見どころを伝える。

改修内容

全面改修

- ・最初に訪れ、たたら製鉄と鉄の初歩に触れる場所とする。
- ・体験展示を中心に構成する。
- ・天秤竈の体験展示に背景を加えて臨場感を演出する。

全面改修

- ・たたら製鉄を象徴する資料を展示する。
- ・旧金屋子神話民俗館の金屋子神信仰に関わる展示を継承する。

部分改修

- ・たたら製鉄の歴史と大鍛冶の展示を強化する。
- ・若年層や外国人にも分かりやすいよう、映像、デジタルコンテンツ、学習材の活用を拡充する。

全面改修

- ・暮らしから宇宙まで取り上げ、鉄の豊かな可能性を感じられる展示にする。
- ・持つ、動かすなどの体験展示を拡充する。
- ・日本刀を持つ体験に記念撮影用の背景を追加する。
- ・科学教室などを行う体験スペースを設置する。

部分改修

- ・調査研究の進展を活かし、安来を舞台にした、たたら製鉄の実像を紹介する。
- ・グラフィックや音響などを活用し、直感的に理解しやすいよう工夫する。
- ・地元会社との協力により、安来でつくられ社会を支える特殊鋼製品の展示を大幅に更新する。
- ・たたら製鉄を未来へとつなぐ大きな役割を果たした安来ゆかりの人物を紹介する。

全面改修

- ・たたら製鉄の「文化」の要素を新たに展示する。
- ・陶芸の河井寛次郎などの美術工芸品を常設展示する。

全面改修

- ・日本遺産ゲートウェイ機能を強化し、文化観光の拠点の役割を果たす。
- ・観光情報を適宜更新し、季節性のイベント情報などを伝える。

部分改修

- ・鉄を運ぶ船の様子などを補助的に展示する。

部分改修

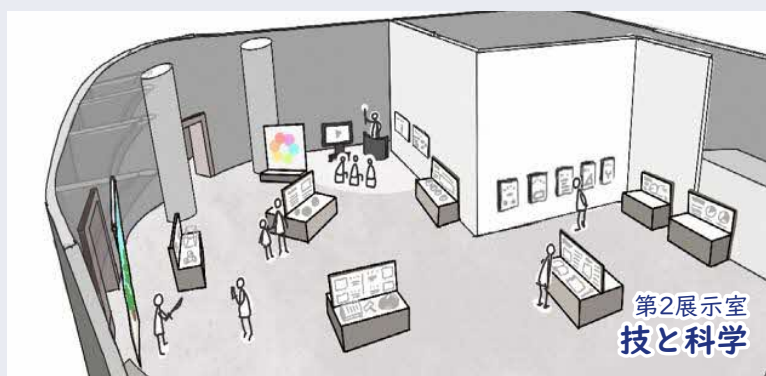
- ・和鋼博物館の大きな見どころであり、見学者の関心も高い、特徴的なデザインを取り上げる。

人材育成 学ぶ・育つ

技と科学に触れる展示によって、鉄に興味を抱いてもらうきっかけをつくります。鉄鋼関連の職業を担う人材の育成、キャリア教育に寄与し、地域の担い手の育成につなげます。



鉄の不思議に触れる、子供と初心者向けのコーナー



たたら製鉄、現代の鉄鋼の技と科学

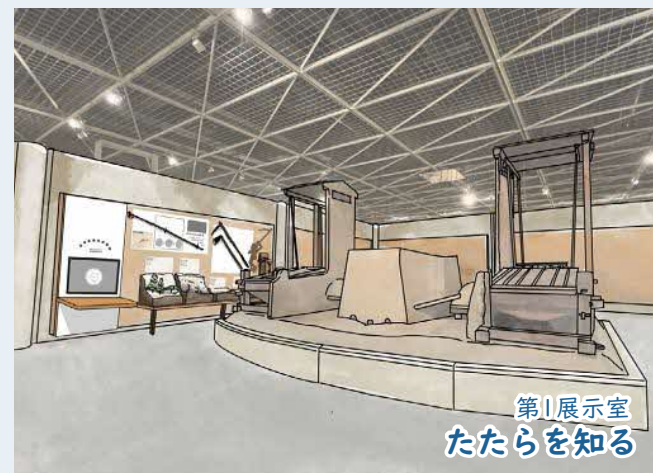


伝統の技と現代の科学を体験

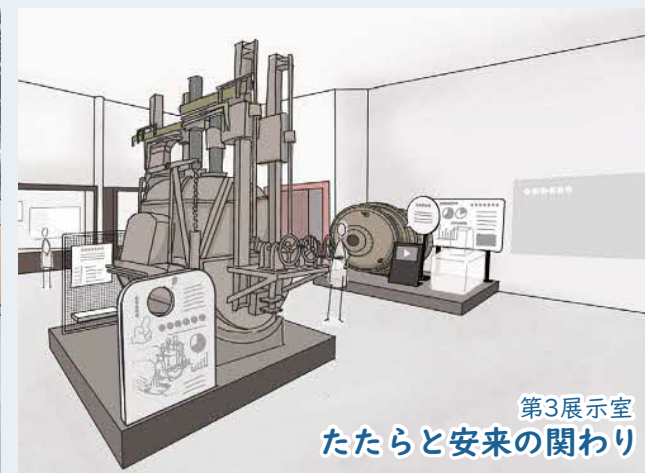
Q. 新しい和鋼博物館って、どんな場所？

産官学民連携 つなぐ

様々な関係先とつながり、展示改修を推進することで、多様な人々の学習に役立てます。また、展示の更新や展示解説など様々な事業においても、関係先との連携、協力を重視します。

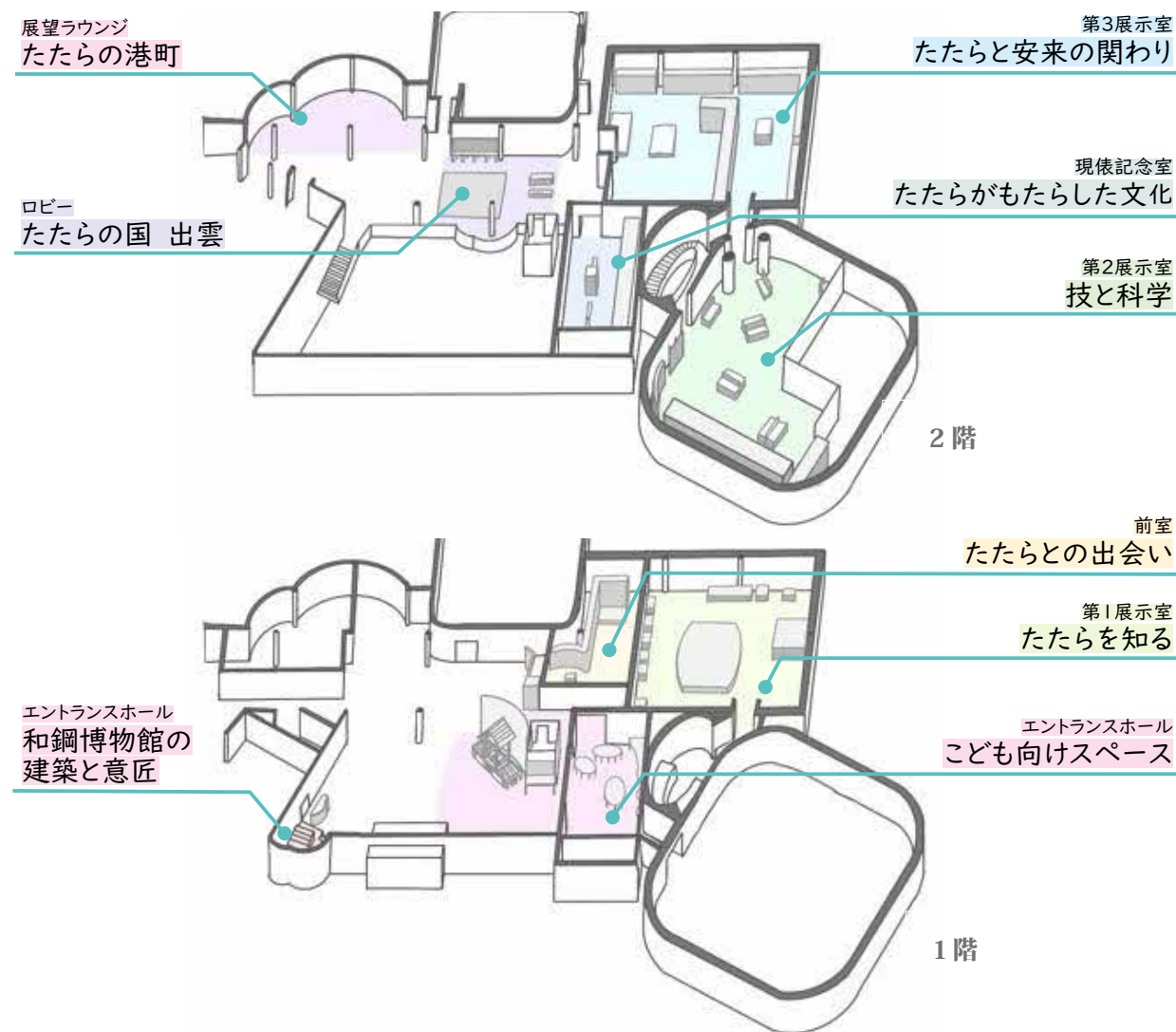


研究の進展を活かし、たたら製鉄の概要を紹介



地元会社と連携した展示により、たたら製鉄から特殊鋼産業への進展を伝える

展示構成図



文化観光

楽しむ・巡る

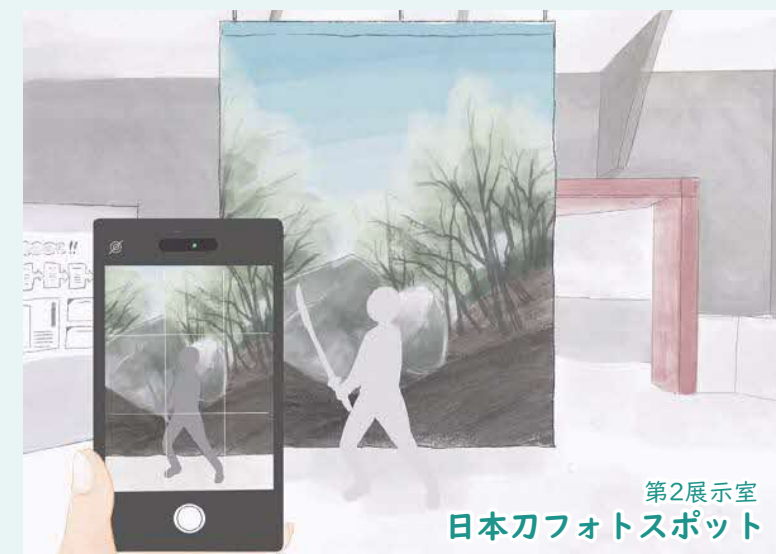
たたら製鉄由来の文化遺産の魅力を伝えるとともに、各地の文化遺産への周遊を促します。各地での見学や特別な体験などでたたら製鉄に触れることで、学びだけでなく楽しんでもらうことを目指します。



日本遺産のゲートウェイとして、見どころ、周遊先、イベント情報を伝える



たたら製鉄による経済的な繁栄がもたらした、豊かな文化と芸術を伝える



写真撮影の出来る場所を各所に設置する

A. 新しい基本理念「感動！ 行動！ 和鋼博物館から始める たたら旅」のとおり、新しい和鋼博物館は、大人から子供、たたら初心者から研究者まで、あらゆる人々が学び楽しみ、「たたらと交わる人生の旅」に出かけるための始まりの舞台になります！